

スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベの出し方について

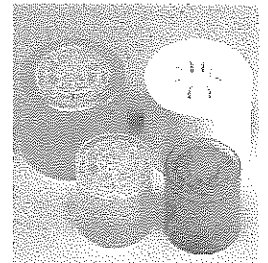
昨年12月に北海道で起きたスプレー缶事故を受けて、改めてスプレー缶・カセットボンベの出し方についてお知らせします。

木曽郡内では従来どおり、中身を使い切ってから穴をあけてください。

燃えないごみの中に、中身が残ったスプレー缶・カセットボンベが混ざっていると、ごみ収集車やごみ処理施設の火災や爆発事故の原因となり大変危険です。

1. 缶の中身を全部使い切ってください

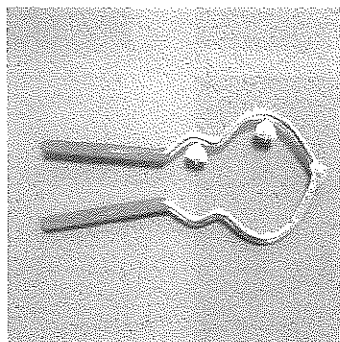
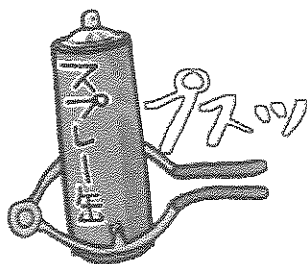
- ・スプレー缶に中身の出し方が記載されている場合は、それに従い処理をしてください。残ったガスを出し切るための「ガス抜きキャップ」がついている場合があります。



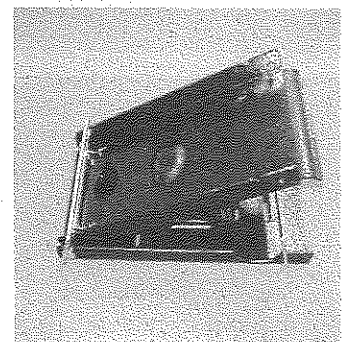
ガス抜きキャップの例

2. 使い切れない場合は中身を出してください

- ・中身を出す時は、必ず火の気のない、風通しの良い屋外で行ってください。缶を振って中身が残っていると『シャカシャカ』『チャブチャブ』などの音がするので、確認してください。
- ・スプレー缶の中身の出し方については、(社)日本エアゾール協会のホームページに詳しく掲載されていますのでご覧ください。
- ・多くのガス抜き器具がホームセンターなどで販売されていますので、ご自身に合った専用器具を用いて安全に十分注意してガス抜きを行ってください。



手で握るタイプの例



足で踏むタイプの例

3. ごみの出し方

- ・中身が空になったスプレー缶・カセットボンベは「金物の日」に出してください。
- ・内容物の入っているものは引き取りません。

木曽広域連合ホームページでカラー版をご覧ください。 <http://www.kisoji.com/kisokoiki/>

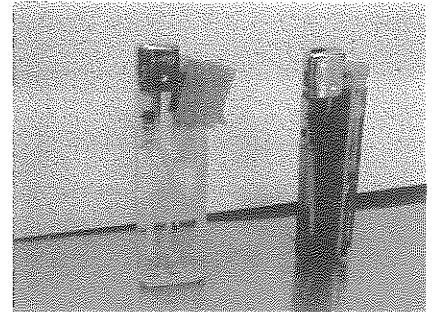
裏面もご覧ください

使い捨てライターの出し方について

ごみの中に中身が残ったライターが混ざっていると、ごみ収集車やごみ処理施設の火災や爆発事故の原因となり大変危険です。

1. 中身を全部使い切ってください

- ・着火スイッチを押した状態で火を吹き消し、そのまま輪ゴムや粘着力の強いテープなどでレバーを固定してガスが抜けるまで放置してください。
- ・ガス抜きの方法については、(社)日本喫煙具協会のホームページに詳しく掲載されていますのでご覧ください。



2. ごみの出し方

- ・中身が空になった使い捨てライターは少量ずつ「燃えるごみの日」に出してください。
- ・金属の部分が長い製品（チャッカマン等）は完全に使い切ってから「不燃ガラスの日」に出してください。
- ・全体が金属製のライターは完全に使い切ってから「金物の日」に出してください。
- ・内容物の入っているものは引き取りません。



写真：平成 28 年 1 月 4 日に木曽クリーンセンターで発生した「使い捨てライター」が原因と思われる火災

木曽広域連合ホームページでカラー版をご覧ください。 <http://www.kisoji.com/kisokoiki/>

裏面もご覧ください